

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 福岡県立三井高等学校 】

1 実践テーマ	I	II	III	IV	V
2 実施対象者 (学年・人数)	福岡県立三井高等学校 1年生 147名 2年生 155名 3年生 160名				
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 ( 創立記念行事 ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )				
4 目標 (ねらい)	オリンピック金メダル獲得選手を招聘して講演会を実施することにより、スポーツ、オリンピックに関する理解を深めるとともに、東京オリンピックへの関心を高める。また、講師の金メダルを獲得するまでの体験に触れることにより生徒自身が夢の実現に向かって努力することのすばらしさを知る。				
5 取組内容	1 11月中旬 講師決定 藤本 索子 氏 (元女子ソフトボール日本代表) 2 11月下旬 事前授業 2学年体育授業において、北京オリンピックソフトボール競技映像を視聴				

3 12月2日(月)  
1・2限 創立記念講演会(体育館)

講 師 藤本索子氏 2008年北京オリンピック  
ソフトボール競技金メダリスト  
内野手

演 題 「夢をあきらめない ～金メダルを獲得して～」



これが本物の金メダル・・・感激!!!



藤本選手、すごいなあ 私もがんばったら出来るかなあ・・・

講演の冒頭、実物の金メダルを生徒の手に取らせ見せていただいた。生徒は藤本選手の努力と思いが詰まった金メダルに圧倒されているようだった。



憧れの金メダリストとキャッチボール・・・



藤本選手の球はスピードがあるなあ・・・

後半では藤本選手自らボールとグローブを手に取り、本校ソフトボール部員を相手にキャッチボールをしていただいた。部員にとって金メダリストとのキャッチボールは忘れられない体験となった。

<p>6 主な成果</p>	<p>① 実物の金メダルを目にして、多くの生徒がオリンピックに対する興味・関心が高まった。</p> <p>② スポーツの楽しさや魅力を味わうことが出来た。</p> <p>③ 藤本選手のソフトボールに対する思いや、オリンピックにかける情熱と努力に対して尊敬する気持ちが生まれると同時に、あきらめなければ夢は実現できるということを感じることが出来た。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>① 本校と同じ地域の県立高等学校に在籍する教諭を講師として招聘することにより、オリンピックをより身近に感じさせることができた。</p> <p>② 時間の都合上体験授業を組み合わせることは出来なかったが、講演会の中で競技体験をさせていただき、金メダリストと実技を通して触れあうことが出来た。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>① 予定では講演後、体験授業を計画していたが、講師の業務の都合上、十分な時間を確保することが出来ず、講演会のみ実施となり残念であった。</p> <p>② ソフトボールの授業を実施する予定であったが、本校内の諸事情により実施できなかったことが残念であった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>① 太宰府市在住の道下美里氏を講師に招いての交流会の実施を検討する。</p> <p>② ソフトボール用具を購入し、ソフトボールの授業を実施する。ソフトボールの授業を通して2020年東京オリンピックで復活したソフトボール競技に興味関心を持たせたい。</p>